

藝園草牧



雪印種苗株式会社

ソルゴーおよびスーダングラス 品種の使い分け

ソルゴーとスーダングラスは、盛夏期の生育が早く、再生力も旺盛で6～10月間に3～5回刈取ができ、また台風や早魃に耐えるなど優れた特性をもち、関東地方から九州まで広く栽培されています。利用方法は青刈が主ですが、エンシレージや乾草にも調製でき、次に示すとおり品種特性を生かした利用法が最善であります。

種類	品 種 名	生 育	早 晩 性	草 丈	葉 数	茎の 太さ	分 ケ ヅ	再 生		利 用 法		
								1.5 m刈	出穂刈	青刈	エンシレージ	乾草
ソ ル ゴ ー	雪印ハイブリッド スイート パイオニア 985 モウソウ	中	早	中	中	中	少	中	中	○	○	
		早	中	高	多	細	多	良	中	○	○	
		中	中	極	中	細	少	良	下	○	○	
スーダングラス	スイートスーダン パイパー ハイスーダン	早	中	中	中	細	中	良	中	○		○
		中	早	低	少	極	多	良	良	○		○
		早	中	中	中	細	多	良	良	○		○

◎スイートソルゴー

初期生育早く、刈取後の再生も抜群に早く、草丈1～1.5mで5～6回刈取でき、やわらかい消化率良好な茎葉を豊富に生産する理想的な青刈専用品種。

青刈利用のポイントは、茎の硬化——喰い残し——を生ずる前に早刈を行ない、可食量を増大し産乳量をも高めることであり、したがって多回刈のできる再生旺盛な品種を選定しなければなりません。

◎雪印ハイブリッド・ソルゴー

初期生育はおそいが気温の上昇とともに伸長し、出穂期が統一で登熟良好であり、エンシレージ用刈取(出穂期刈——年2回刈)に適し極めて多収が得られます。また早熟ですから澱粉質の含量高く、良質のエンシレージを調製できます。再生力はやや弱いため、青刈には適さず、出穂期刈で多収を示すエンシレージ用適品種。



雪印ハイブリッドソルゴー



◎パイオニア 985

上記2品種の中間的な特性をもつ品種で、青刈、エンシレージいずれの利用にも適する兼用品種。

再生力も旺盛で、草丈1～1.5m、4～5回刈取でき、また出穂期刈の場合にも雪印ハイブリッドに近い多収性を示します。

◎ハイスーダン

スーダングラスの新品種(一代雑種)で、葉の病害に強く、初期生育および刈取後の再生が早く、茎は細く多葉で乳牛の嗜好性良く、多回刈利用に適します。

草丈1～1.5mで5～6回刈取でき、生草収量はソルゴーに劣らず10アール当り10tを越え、注目されている品種です。

スーダングラスは最近、乾草調製の面でも重要視され、夏期の乾草作りとして若刈でやわらかい上質の乾草が得られます。